

第4課 ほっと一息〈話してみよう〉

タン：ありがとうございました。じゃあ、また来週。

田中：はい、また来週。今日はこれからどこかへ行くんですか。

タン：ええ、ちょっと、コンビニへ…。

田中：コンビニ？ タンさんはよくコンビニへ行きますね。コンビニが好きですか。

タン：まあ、そうですね。ついふらっと寄ってしまいます。仕事の日には夜遅くなるので、家に帰る前に、コンビニに行きます。それで、習慣になってしまって…。

田中：そうですね。仕事が終わった後、晩ご飯を買って帰るんですか。

タン：いいえ、だいたいお菓子や飲み物ですね。特に買う物を決めているわけじゃないんです。コンビニにはいろいろな物が並んでいるから、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいんです。

田中：なるほど。タンさんにとってコンビニは一日の終わりにほっと一息つける場所なんですね。

タン：そうかもしれません。暗い通りでも、コンビニは明るいし、中に入ると、暖かくて、なんかほっとするんです。田中さんはどんなとき、ほっとしますか。

田中：ん、私は本屋にいるときかな…。あの本の匂いが落ち着きますね。それから、風呂から上がってビールでも飲みながら、ぼうっとテレビを見てるときも、ですね。

第4課 ほっと一息〈読んでみよう〉

タンさんは、これからコンビニへ行こうと思っています。毎日、仕事の後でコンビニへ行くので、それが習慣になっているのです。タンさんがコンビニへ行くのは、晩ご飯を買うためではありません。特に買う物を決めているわけではなく、明るいコンビニの店の中を歩いて、何を買おうかなとか、これは新しい商品かなとか考えながら、選ぶのが楽しいのです。

田中さんは、タンさんにとって、コンビニはほっと一息つける場所だと言いました。タンさんもそうかもしれないと思いました。タンさんは田中さんにほっと一息つけるのはどんなときかと尋ねました。田中さんは本屋にいるときだと言いました。本の匂いを嗅ぐと落ち着くからです。それから、風呂から上がってビールを飲みながらぼうっとテレビを見るときもほっとすると答えました。